

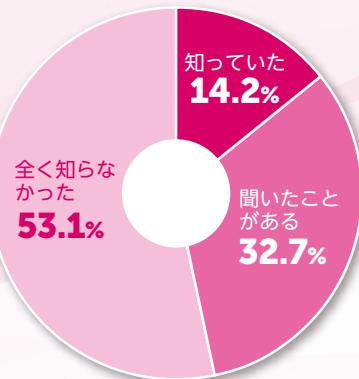
Q インターベリー α の効果が最大化する期間は？

A インターベリー α は主に口腔内の免疫力を高めることで歯周病原細菌を減少させ、その結果歯肉の炎症を抑えると考えられています。したがいまして効果の発現に数週間以上かかることもあります。ご家族様は歯肉炎の改善をすぐに実感しにくいことがあるようです。

インターベリー α の効果が最大化するのは投与開始から2~3ヶ月かかり、効果持続期間は犬では9~12ヶ月、猫では3ヶ月程度であることを処方開始時にご家族様へお伝えください。

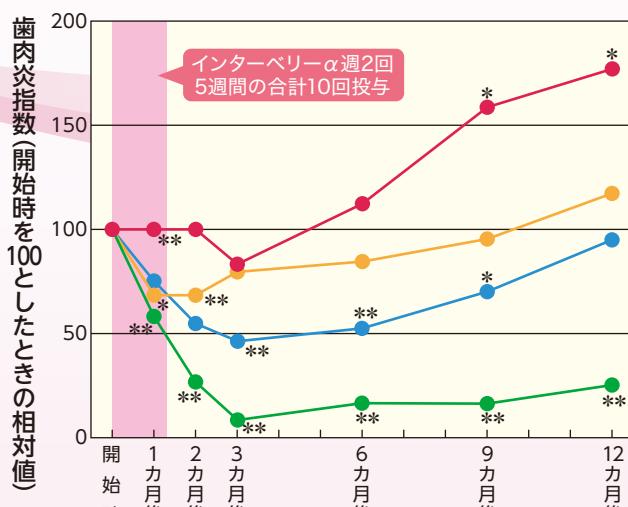


インターベリー α は最大の効果を発現するまで使用開始から犬猫とも約3ヶ月かかり、その後数ヶ月効果が持続することをご存じでしたか？
(n=1841)



2023年10月16日～11月19日配信のオンライン歯科セミナー調査より

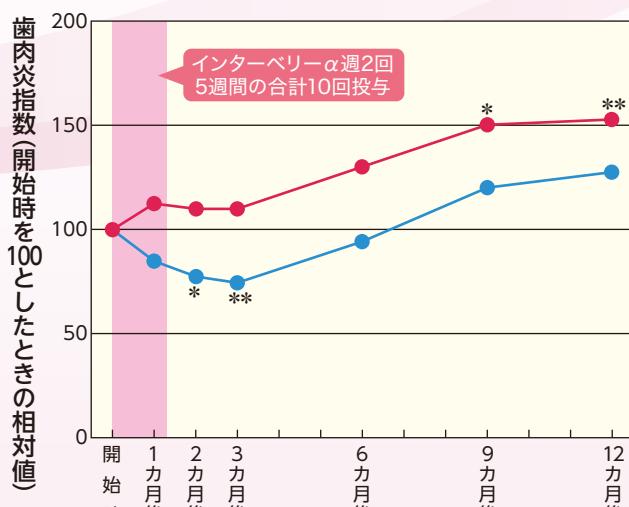
犬の歯肉炎指数の変化率



● I Ba + 歯磨き等 (n=22) ● I Ba (n=35) * : p<0.05
■ 歯磨き等 (n=13) ■ 無処置 (n=14) ** : p<0.01

J. Jap. Vet. Med. Assoc. 70:589-593, 2017 (データを一部再解析)

猫の歯肉炎指数の変化率



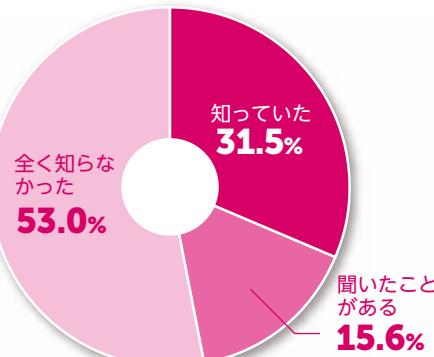
● I Ba (n=58) ■ 無処置 (n=22) * : p<0.05
** : p<0.01

J. Vet. Med. Sci. 82(2):232-236, 2020 (データを一部再解析)

Q ペット保険は使えるの？

A 薬剤負担を気にされるご家族様も多いかと思います。インターベリーαは動物用医薬品ですので「歯肉炎」と診断された症例にはペット保険が適用になる場合があります。
ペット保険にご加入のご家族様には特にお勧めです。

インターベリーαは動物用医薬品であり「ペット保険」が使用できる場合があることをご存じでしたか？ (n=1841)



2023年10月16日～11月19日配信のオンライン歯科セミナー調査より

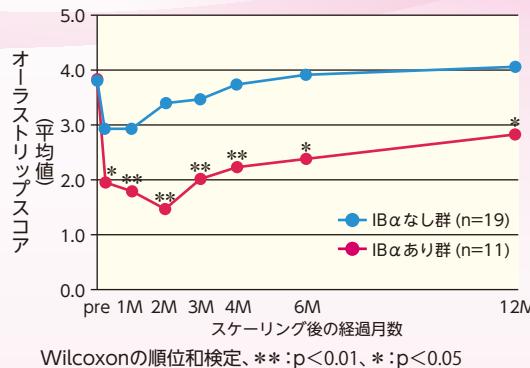
保険適用のPOPのご紹介



Q スケーリング後の使用で効果は長持ちするの？

A せっかく行ったスケーリングですのでご家族様はいつまでもお口の中をきれに保ちたいと思っておられるはずです。スケーリング後から週2回5週間インターベリーαを使用することで、クリーンになった口腔内環境を長期間保つことが報告されています。もちろん歯みがきなどのオーラルケアが最も大切であることに変わりはありません。また年に1回のスケーリングで死亡リスクが20%近くも下がることが示唆されており、スケーリングを積極的に提案することも大切です。

スケーリング後のインターベリーα使用による効果



[症例 1] 左：IBα塗布、スケーリング 6カ月後 右：IBα塗布、スケーリング 12カ月後



[症例 2] 左：IBα非塗布、スケーリング 6カ月後 右：IBα非塗布、スケーリング 6カ月後

J. Am. Anim. Hosp. Assoc. 55(3):130-137,2019